

【アゼルバイジャン経済トピック 128 号】

在アゼルバイジャン日本大使館

2023 年 3 月 1 日

アゼルバイジャンにおけるインフレ率

アゼルバイジャン国家統計委員会より、2022 年におけるインフレ率が公表されましたので、以下のとおり紹介します。

2022 年におけるアゼルバイジャンのインフレ率は 13.9%の上昇を記録しました。特に、食品(タバコ製品含む)は 19.5%の上昇を記録し、非食料品についても 8.6%、サービスでも 10.4%となっています。

アゼルバイジャン政府は、2022 年のアゼルバイジャンのインフレ率に影響を与えた主な要因として、「食品の輸入価格上昇(世界的に見られる食料生産コストの上昇を起因とするもの)」と、「主要貿易相手国での高インフレ」を上げており、新型コロナウイルスの蔓延やロシアによるウクライナ侵略を原因とするサプライチェーンの混乱、なかでもエネルギー価格の上昇は国内における広範な食料価格の上昇を引き起こした、としています。

現在、アゼルバイジャン政府は、インフレ対策として一部商品に対する付加価値税の免除や食品の国外輸出規制といった取組を行っています。

なお、中央銀行は 2023 年のインフレ率を 8%と予測しています。

(以上)